

1:

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ	臨床専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Sentinel lymph node biopsy in cutaneous melanoma: the WHO Melanoma Program experience	
	論文の日本語タイトル	皮膚悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節生検: WHO メラノーマプログラムにおける経験	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ()	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ7-1	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー/メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究 (コホート研究や症例対照研究) V. 記述研究 (症例報告やケースシリーズ) VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I V)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Ann Surg Oncol	
	雑誌 ID		
	巻	7	
	号	6	
	ページ	469-74	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2000	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Cascinelli, N.	
その他著者 1		Belli, F.	
その他著者 2		Santinami, M.	
その他著者 3		Fait, V.	
その他著者 4		Testori, A.	
その他著者 5		Ruka, W.	
その他著者 6		Cavaliere, R.	
その他著者 7		Mozzillo, N.	
その他著者 8		Rossi, C. R.	
その他著者 9		MacKie, R. M.	

	その他著者 10	Nieweg, O.	
	その他著者 11	Pace, M.	
	その他著者 12	Kirov, K.	

一次研究の8項目	目的	SLNによりリンパ節郭清が必要な患者を選択する		
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究		
	セッティング	WHO Melanoma Programに登録した12施設		
	対象者	829人のstage I 悪性黒色腫患者（1994年2月から1998年8月まで） （男性370人、女性459人、年齢中央値50歳）		
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず（2）		
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず（3）		
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず（22）		
	介入（要因曝露）	センチネルリンパ節の生検		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分	
		1	センチネル陽性	1.主要 2.副次 3.その他（ ）
		2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
		3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
		4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
		5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
		6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
		7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）	
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）	
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）	
	主な結果	SLN 陽性率は18%であった。術中迅速診断は39%に行われたが有用性は陽性例の47%にとどまった。SLN 陽性の原発巣の厚さは< 1mm: 2%; 1-1.99 mm: 7%; 2-2.99 mm: 13%; and > or = 3 mm: 31%であった。SLN 陽性でリンパ節郭清を行った例22%にNonSLNの転移が判明した。SLNBに伴う合併症の報告はなかった。40例(6%)はSLN陰性であったが後にリンパ節転移が出現し、郭清をおこなった。多変量解析ではセンチネルリンパ節陽性が(P = .000)腫瘍の厚さ(P = .001)、潰瘍化(P = .015)と共に有意な予後因子であった。		
	結論	SNBは容易で安全な方法であることが確認された。		

	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	八田尚人
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 初期のセンチネルリンパ節生検における多数例の解析である。主に色素法を用いているため偽陰性率が若干高いが、センチネルリンパ節生検に伴う有害事象がみられなかったことは特筆される。